

# キラリ 輝く 秋穂っ子

～15年間で育てたい秋穂の子ども像～

【山口市 秋穂中学校区】

## 地域の概要

山口市秋穂は平成17年10月に、山口市と周辺4町が合併し新山口市となりました(平成22年1月には旧阿東町と合併)。

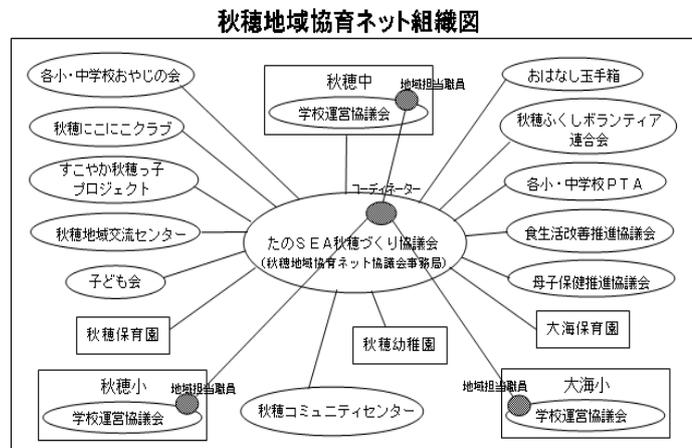
古くから秋穂八十八ヶ所霊場めぐりの地として知られ、瀬戸内海気候の恵みを受けて昭和30年代まで入浜式塩田による製塩業が営まれていました。

また、藤永元作博士(萩市出身)による車海老養殖事業発祥の地としても知られています。

人口	6,910人	
世帯数	2,530世帯	
対象校及び園児・児童生徒数	秋穂中学校	174人
	秋穂小学校	196人
	大海小学校	124人
	秋穂幼稚園	17人
	大海保育園	64人
	秋穂保育園	45人

## 組織の内容

秋穂地域では、平成24年6月に地域づくり組織である「たのSEA秋穂づくり協議会」を母体として「秋穂地域協育ネット協議会」を設立し、現在21団体が加入しています。以前から類似の活動を積み重ねてきた「すこやか秋穂っ子プロジェクト」と連携し、関連団体を巻き込んで活動を展開しています。既存の団体を緩やかにネットワーク化するとともに、その中心に地域コーディネーターを配置し、情報の共有と共通理解を深めることで、学校・家庭・地域がそれぞれの責任と役割を自覚しながら連携して、住民総参加で地域の宝である子どもたちの育ちを支援することをめざしています。



## 特色・重点的な取組

地域づくり協議会(たのSEA秋穂づくり協議会)が中心になり、「キラリ輝く秋穂っ子の育成」をスローガンとして掲げ、「思いやりのある子」「夢につながる子」「ふるさとを愛する子」を「育てたい子ども像」として、地域と学校が共通した願いをもって取り組みが進められています。

### ・学校支援

家庭科、総合的な学習の時間、図書館整理、水泳の安全見守り、生活科等

### ・協議会加入団体との事業の共催・協力

もちつき大会(おやじの会ほか)など

### ・講演会

幼保・小・中合同研修会

(一般、地域住民含む) 長谷川 博之 氏

子どもの暮らしを考える講演会

(中学生、保護者、地域住民) 陰山 英男 氏

### ・リーフレット、ポスターの作成

### ・交流センター内に加入団体が自由に使える掲示板の設置



ポスター作成

リーフレット

## 主な活動の紹介

学校支援を中心にしながら学校・家庭・地域が課題を共有し、より有効な支援活動を行うために、学校支援ボランティア依頼書を作成し、学校との連絡・調整をしています。具体的な活動としては、地域の方による読み聞かせや学習支援、子育て支援団体の協力の下での思春期子育て体験、おやじの会によるもちつき大会や環境整備などのほか、地域や学校の関係者による学力向上やキャリア教育などの研修も積極的に行っています。また、幼保・小・中の連携を図るための合同研修会を開くなど、15年間のつながる育ちを支えています。



昔の遊び交流会



絵本の読み聞かせ



手話サークル「しいのみ会」  
による手話教室



長谷川博之氏講演会



陰山英男氏講演会



おやじの会による  
もちつき大会

## 成果と課題

ポスターを作成し、学校だけでなく地域の主要箇所に貼ったり、折にふれて話したりすることで地域全体で秋穂の子どもたちを育てようという意識が高まってきました。また、様々な学習支援や行事等を実施することで、子どもたちと地域住民とのつながりがより強くなってきました。さらに幼保・小・中の教職員の合同研修会を開く中で、15年間で育てたい秋穂の子ども像の共有化を図ることができ、各園や各校の教職員のつながりも生まれてきました。

今後の課題は、より連携を深めていくためのメール配信やブログなどの活用で、現在検討しているところです。

## 今後の取組

- ・協議会構成員の積極的な研修を進めます。
- ・コーディネーターの継続配置のための予算の確保を図ります。
- ・地域協育ネットの趣旨について地域住民の理解を得たり、自主的な協力を得るための取組を進めたりします。
- ・学校支援ハンドブックの作成と配付を検討します。
- ・ニーズに応じた学校支援ボランティアの参加をコーディネートします。
- ・大人も子どもも一緒に学んで交流を広げ、生涯学習のまちづくりに参画します。
- ・地域と学校をつなぎ、新たな発想の展開で子どもたちの可能性を伸ばします。
- ・関係団体が実施している事業や活動を支援することで、子どもの健全育成を図ります。